増田俊男の『愉快な暴言』2026年9月17日国会議員号

[HP] http://chokugen.com/
[FAX] 03-3956-1313　　[mail] info@chokugen.com
[X(旧 twitter)] t_masuda2019/　[Youtube] 増田俊男チャンネル/
[instagram] t.masuda2026/



ブルータス、お前もか！

時事評論家 増田俊男

「スコット・ベッセント財務長官なくしてアメリカの信頼なし！」と言われてきた。
「ブルータス、お前もか！」は、古代ローマ時代カエサル（シーザー）が親兄弟のように信頼していたブルータスに暗殺された時の言葉である。
ベッセントはウォール街の出身であり、ポンド（英国通貨）を破綻に追い込んだジョージ・ソロスの下でファンドマネージャーをしていたので外国為替通である。
そのベッセントが円安是正の為、政府・日銀の15.30兆円（史上最高額）に対して雀の涙ほどの5億ドル（約8,000億円）の介入をして円が153円台まで上昇してとどまっているので、それなりの成果を上げたのは事実である。
わずかな金額で円安是正介入を成功させたとしてベッセントは議会証言で胸を張った。
次にベッセントは上げ続けている米長期国債の利回りを下げる為国債買戻し計画を発表、当初20億ドルであったのを2倍の40億ドルし、さらに3倍の60億ドルにすると発表したが実際は54億ドルであった。
市場は100億ドル規模でないと効果はないと見ていたところに予定の3倍などと「姑息なケチ」をしたベッセントに長期金利最高値で答えた。
ベッセントはダラス・テキサスの大学での講演で、「今の私はハウス（胴元）だ、望むなら反対に賭けて見ろ！」（俺は市場を牛耳っているのだから、逆らうな）と言った。
さらにその後第一期のトランプ政権で国家戦略補佐官をしていたスティーブ・バノンとの対談でウォール街に向かって「私のやっていることに不満なら、それは本当にひどいことになるぞ」と市場に脅しをかけた。
まるでトランプの脅し発言と同じだ。
ダラスでの共和党大会でベッセントは、トランプ大統領はアメリカの家庭の為に一生懸命に努力している、歴代の大統領でトランプだけだと褒め、物価を下げると言ったのに逆に上げ、戦争を終わらせると言っていながらイラン戦争に突入したトランプを絶賛した。
中間選挙で共和党が両院を制したら有権者一人に5,000ドル（約80万円）を払う（必要資金約1.3兆ドル＝約200兆円、日本の国家予算140兆円）というトランプ宣言を支持し、財務長官として十分可能だと保証して見せた。
「ホワイトハウスがトランプ一族の金儲けの巣と化した」と言って美人のレビット報道官もホワイトハウスと議会の重要なパイプ役の補佐官、その他何人もの、いわばトランプの身内が辞めて行く中でのベッセント財務長官の発言は信頼してきた市場と世界を裏切ることになった。
あれほど信じていたのに「ベッセント、お前もか！」である。
唯一の良識を失ったトランプ政権の運命はタイタニック号なのだろうか。

※増田俊男の小冊子Vol.161　先行受付中！お申込みは、https://www.musrjec.com/

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダU.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。